【資料５】

鈴鹿市　地域福祉に関する調査（案）

［市民意識調査］

日頃より、本市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

鈴鹿市では、令和６年４月に策定した「第３期鈴鹿市地域福祉計画」に基づき、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことのできる地域社会の実現に向けた取組を進めています。計画の中間年度である令和９年度を迎えるに当たり、今年度は、本市の地域福祉全般について、市民の皆さまが日頃感じられていることをお伺いし、これまでの検証を行うとともに、計画の見直しに当たっての基礎資料とするため、調査を実施することとなりました。この調査は、令和８年●月●日現在の 18 歳以上の市民の皆さまから無作為で 1,500 人を抽出し、無記名で実施させていただくものです。

皆さまの声をより良い地域福祉施策の展開につなげたいと考えておりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

令和８年９月　　鈴鹿市長　末松　則子

＜ご記入にあたってのお願い＞

■ この調査は、できる限り対象者ご本人（封筒のあて名の方）がお答えください。なお、対象の方が何らかの事情により回答できない場合で、どなたも代筆できない場合などには、そのまま返送してください。

■ 原則として、令和８年●月●日（基準日）現在の状況について、あてはまる番号に○をつけてください。また、その他の場合には、（　　）内にその内容を具体的にお書きください。なお、設問によっては、複数回答していただく場合や、お答えの内容によって、次に答えていただく質問が変わるものがありますので、ご注意ください。

■ 集計結果は公表しますが、統計的に処理します。皆さまの個人に関する情報が外部に漏れることはありませんので、率直なご意見等をお聞かせください。

■ 回答が終わりましたら、記入もれなどがないか確認していただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、●月●日(●)までに郵便ポストに投函していただくか、下記の要領でパソコン・スマートフォンによってご回答ください。

このアンケートは、パソコンまたはスマートフォンからも回答ができます。下のＵＲＬまたは右の二次元コードにより、回答サイトへアクセスいただき、説明に従って回答をお願いします。

ＵＲＬ　https://**********.****　　二次元コード

《ご注意》

パソコン・スマートフォンからの回答は、**１回限り**としてください。**パソコン・スマートフォンから回答頂いた方は、調査票は返送しないように**お願いします。

■ このアンケートについてのお問い合わせは下記までお願いします。

鈴鹿市 健康福祉部 健康福祉政策課（TEL　059-382-9012）

1　あなたご自身のことについておたずねします。

問1　あなたの年齢は。（数字を記入）

［　　］歳

問2　あなたの職業は。（○は1つ）

1　自営業	4　パート・内職	7　無職
2　会社員	5　学生	8　その他
3　公務員・団体職員	6　家事専念	（　　）

問3　現在同居されている方（あなたからみた関係で）は。（○はいくつでも）

1　配偶者（夫または妻）	5　兄弟姉妹	9　その他
2　こども	6　親	（　　）
3　こどもの配偶者	7　祖父母	10　同居している人は
4　孫や孫の配偶者	8　その他の親族	いない（ひとり暮らし）

問4　あなたがお住まいの地区は。（○は1つ）

1　国府地区	10　一ノ宮地区	19　久間田地区
2　庄野地区	11　箕田地区	20　椿地区
3　加佐登地区	12　玉垣地区	21　深伊沢地区
4　牧田地区	13　若松地区	22　鈴峰地区
5　石薬師地区	14　神戸地区	23　庄内地区
6　白子地区	15　栄地区	24　地区がわからない
7　稲生地区	16　天名地区	↓
8　飯野地区	17　合川地区	※町名を記入してください
9　河曲地区	18　井田川地区	（町名　　）

問5　現在お住まいの地区に住み始めてからの期間は。（○は1つ）

1　1年未満	3　3年～5年未満	5　10年～20年未満
2　1年～3年未満	4　5年～10年未満	6　20年以上

問6　あなたの健康状態は。（○は1つ）

1　健康である	4　病気や身体の痛みなどで、日常生活に支障が出ることがある
2　おおむね健康である	5　ねたきり、または、ほとんどねたきりである
3　病気や身体の痛みなどがあるが、日常生活に支障はない	6　その他 （　　）

2　福祉に関する関心や情報入手についておたずねします。

問7　あなたは「福祉」に関心がありますか。（○は1つ）

1　ある
2　ない

問8　福祉に関心が「ある」方は、どのようなテーマに関心がありますか。
（○はいくつでも）

1　高齢者の福祉
2　障がい者・障がい児の福祉
3　こどもの福祉
4　母子・父子家庭の福祉
5　生活に困窮している人の福祉
6　外国人の福祉
7　地域でのつながりづくりや支えあい
8　障がい者や外国人などとの共生
9　その他
（　　）

問9　あなたは地域福祉の推進に関係している次の組織や計画等を知っていますか。
（○は(1)～(5)それぞれ1つ）

回答の向きはこちら →	1 知っているし関心がある	2 知っているが関心はない	3 よく知らないが関心はある	4 よく知らないし関心もない	5 全く知らない
(1) 鈴鹿市社会福祉協議会	1	2	3	4	5
(2) 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
(3) 鈴鹿市地域福祉計画	1	2	3	4	5
(4) 成年後見制度	1	2	3	4	5
(5) 後見サポートセンター みらい	1	2	3	4	5

問10　あなたは、福祉に関する情報を、主にどのような方法で得ていますか。
（○はいくつでも）

1　市の広報やパンフレット
2　新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
3　インターネット・メール
4　友人・知人や近所の人などの口コミ
5　家族・親族に教えてもらう
6　その他（　　）

3　地域とのつながり、関わりについておたずねします。

問11　あなたや、同居されているご家族は、近所の人とどの程度のつきあいがありますか。下の表(1)、(2)それぞれの該当する番号に○を付けてください。（○はいくつでも）

【複数のご家族がおられる場合は、近所づきあいが最も多い人についてお答えください。同居されているご家族がおられない場合は「あなたご自身」のみお答えください。】

回答の向きはこちら	1 家を行き来するなど、親しくつきあっている人がいる	2 困ったときに相談したり、たすけあう人がいる	3 立ち話をする人がいる	4 出会ったときは、あいさつをする人がいる	5 近所の人とのつきあいはない、または、ほとんどない
(1) あなたご自身	1	2	3	4	5
(2) ご家族	1	2	3	4	5

問12　あなたは、身近な地域の福祉に関する活動などで、現在、参加しているもの、以前に参加していたものや、今後、参加したいと思うものがありますか。
（○は(1)～(5)それぞれ１つずつ）

回答の向きはこちら	1 現在、参加している	2 以前に参加していた	3 今後、参加したい	4 これまで参加はなく、今後も参加しない
(1) 高齢者やこどもなどの見守りや声かけ活動	1	2	3	4
(2) 地域の交流やつながりづくりのための活動	1	2	3	4
(3) ちょっとした困りごとを支えあう活動	1	2	3	4
(4) その他の、身近な地域での福祉活動	1	2	3	4
(5) 身近な地域以外での、福祉に関するボランティアやＮＰＯなどの活動	1	2	3	4

《問12の(4)または(5)で「１」「２」「３」と答えた方にお聞きします。》

問13　活動の具体的内容について、下の欄にお書きください。

《前ページの問12の(1)～(5)のいずれかで「1（現在、参加している）」、「2（以前に参加していた）」と答えた人におたずねします。》

問14　最初に参加したきっかけは、どのようなことでしたか。（○はいくつでも）

1　自ら活動を起こした
2　自分で関心をもって、進んで参加した
3　声をかけられて、関心をもって参加した
4　声をかけられて、しかたなく参加した
5　その他（　　）

《前ページの問12の(1)～(5)のいずれかで「3（今後、参加したい）」、「4（これまで参加はなく、今後も参加しない）」と答えた人におたずねします。》

問15　これまで参加していないのは、なぜですか。（○はいくつでも）

1　今は参加する時間がないから
2　参加するきっかけがないから
3　参加する方法がわからないから
4　その他（　　）
5　特に理由はない

《再び、全員におたずねします。》

問16　あなたは、地域から孤立している人が社会参加（地域の行事、地域活動等への参加）していくため、地域ではどのようなことが必要と考えますか。（○はいくつでも）

1　地域の人びとの理解
2　地域の人びとによる日常的な声かけ
3　参加しやすい場づくり（居場所、サロンなど）
4　地域において小さな役割を与えられること
5　その他（　　）

４　身近な地域での支え合い活動についておたずねします。

問17　あなたは、家族・親族以外の身近な人で、日常の生活に支援が必要だったり、災害時にひとりでは避難できないなどの理由で「気になる人」がいますか。（○は１つ）

1　いる
2　いない
3　わからない

《問17で気になる人が「いる」と答えた人におたずねします。》

問18　その人を支援するために、なんらかの行動をしましたか。（○はいくつでも）

1　相談にのったり、困ったときには助けたりした（している）
2　市役所などの公的な機関や地域の人などに、支援ができないか相談した（している）
3　どうすればよいかわからないので、特になにもしていない
4　その他（　　）

《再び、全員におたずねします。》

問19　あなたは、日常的な支えあいなどの福祉活動を有償（１時間700～800円程度）で行うことについて、どのように思いますか。（○はいくつでも）

1　有償の活動の担い手として参加したい
2　有償の活動を利用して支えてもらいたい
3　参加や利用はしないが、福祉活動を有償で行うことは必要だと思う
4　福祉活動は無償ですべきだと思う
5　その他（　　）

5　困りごとの相談についておたずねします。

問20　あなたは、日常生活のなかで困っていることなどがありますか。
（○は(1)～(12)それぞれ１つずつ）

回答の向きはこちら	1 困っていない	2 困っている	3 特に困っている
(1) 話し相手やちょっとしたことを相談する相手がいない	1	2	3
(2) 病気やケガなどのときに、看病や世話をしてくれる人がいない	1	2	3
(3) 救急車を呼ぶような状況のときに、対応してくれる人がいない	1	2	3
(4) 日常の買い物（食料品や日用品など）に不自由を感じている	1	2	3
(5) 食事の支度や掃除、洗濯などの日常の家事に不自由を感じている	1	2	3
(6) ちょっとした力仕事や屋外の掃除などに不自由を感じている	1	2	3
(7) 自分や家族に介護が必要で、負担が大きい	1	2	3
(8) 子育ての負担が大きい	1	2	3
(9) 外出のときの移動が大変である	1	2	3
(10) 暮らし向き（経済的な状況）がよくない	1	2	3
(11) 近所の人などとのつきあいが難しい	1	2	3
(12) その他（※）	1	2	3

→(※)「その他」で困っていることなどの内容は、最後のページの自由回答欄（問30）にお書きください。

《問20で「困っていること」や「特に困っていること」があると答えた人（(1)～(12)のいずれかで「2」または「3」に○を付けた人）におたずねします。》

問21　それらについて、どこかに相談したことがありますか。（○はいくつでも）
【複数の困ったことがある人は、相談した先すべてに○を付けてください。】

1　家族・親族	6　医療機関	11　社会福祉協議会
2　友人・知人	7　学校・保育所・幼稚園	12　その他
3　近所の人	8　市役所	（　　）
4　民生委員・児童委員	9　市の出先機関	
5　福祉施設や事業所	10　地域包括支援センター	13　特に相談はしていない

《問21で「４」～「11」と答えた人におたずねします。》

問22　相談した際、相談しづらかった経験はありますか。（○は１つ）

【相談しづらかった経験がある方は、どのような場面、内容だったかを記入してください。】

1　ない
2　ある ⟶

相談しづらかった場面や内容について、具体的に記入してください。

《問21で「13　特に相談はしていない」と答えた人におたずねします。》

問23　困りごとがあるにも関わらず、相談しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

1　どこへ相談すればよいかわからなかったから
2　相談しても解決しないと思ったから
3　相談することに抵抗があったから
4　家族だけで解決したかったから
5　相談先まで行くことが難しかったから
6　仕事や介護などで時間がなかったから
7　相談する人がいなかったから
8　その他（　　）

６　再犯防止や支援が届きづらい人への支援についておたずねします。

問24　あなたは、「保護司」という言葉を聞いたことがありますか。（○は１つ）

１　言葉の意味を知っている
２　言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
３　聞いたことがない
４　その他（　　）

問25　刑務所や少年院を出た人が立ち直り、地域の一員として生活できるように支援することについて、あなたの考えに特に近いものを選んでください。（○は１つ）

１　積極的に支援すべきだ
２　ある程度の支援が必要だ
３　特別な支援は必要ない
４　関心がない
５　その他（　　）

《問25で「１　積極的に支援すべきだ」、「２　ある程度の支援が必要だ」と答えた人におたずねします。》

問26　刑務所や少年院を出た人に対し、あなたは、どのように支援するのがよいと思いますか。（○はいくつでも）

１　住民の協力を得て社会全体として支援する
２　行政や関係機関が責任をもって支援する
３　未成年者に重点を置いて支援する
４　高齢者、障がい者に重点を置いて支援する
５　その他（　　）
６　わからない

問27　市では令和６年度より、重層的支援体制整備事業を開始しました。この事業は、従来の、高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援、生活困窮者対策といった分野ごとの支援では対応しきれない、8050問題（※）やひきこもり・ダブルケアなどの複雑化・複合化した課題を抱える人や世帯を、さまざまな面から支援するための体制を整えるものです。
あなたは、この事業の必要性についてどのように感じますか。（○は１つ）

（※）「8050問題」とは、80歳代の親と50歳代の子どもの組み合わせによる世帯が、親の病気や介護、子どもの介護離職・リストラ・失業などにより、世帯全体が経済的困窮や人間関係の孤立などの複合的課題を抱える問題のことをいいます。加えて、90歳代の親と60歳代の子、70歳代の親と40歳代の子といったように、「9060問題」や「7040問題」も顕在化してきています。

１　非常に必要だと思う
２　必要だと思う
３　あまり必要だと思わない
４　必要だと思わない
５　わからない

《問27で「１　非常に必要だと思う」、「２　必要だと思う」と答えた人におたずねします。》

問28　あなたは、8050問題やひきこもり・ダブルケアなどの人やその家族等に対し、どのようなことが必要だと思いますか。（○は２つまで）

１　悩みを相談できる窓口があること
２　地域に居場所があること
３　再び教育が受けられること
４　家族会などで情報交換ができること
５　働くための訓練や仕事のあっせんが受けられること
６　規則正しい生活が送れるようになること
７　訪問などで相談が受けられること
８　その他（　　）
９　よくわからない

7　地域福祉の取り組み全般についておたずねします。

問29　鈴鹿市における以下の(1)～(12)の各項目について、あなたは、どれくらい満足していますか。また、その取り組みをどれくらい重要とお考えですか。

	①満足度（○は1つ）				②重要度（○は1つ）			
回答の向きはこちら →	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
(1) 市民主体の地域課題の解決力向上（地域団体による課題解決への支援 等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(2) 地域福祉の担い手の確保・育成（認知症サポーターの養成、民生委員・児童委員への支援 等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(3) 地域交流の促進（学習の場づくり、住民主体による通いの場　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(4) 地域とのつながりの維持・創出（障がい者就労機会の確保　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(5) 地域の福祉課題の把握と多様な情報発信（アウトリーチ(※)による訪問支援や伴走支援、SNSを通じた情報発信　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(6) 多様な福祉サービスの提供	1	2	3	4	1	2	3	4
(7) 更生支援に向けたまちづくり（再犯防止活動　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(8) 福祉団体等の活動支援	1	2	3	4	1	2	3	4
(9) 権利擁護事業の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
(10) 包括的支援体制の構築（年代や属性にとらわれない相談支援体制　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(11) 社会情勢の変化に対応した環境整備（自殺対策、感染対策　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(12) 災害時に備えたまちづくり（避難行動要支援者への支援　等）	1	2	3	4	1	2	3	4

（※）「アウトリーチ」とは、行政や専門機関から、支援を必要としている人のもとへ出向いて行う訪問型の支援、出張サービスのことです。

問30　その他、日常生活で困っていることや、地域の福祉に関するご意見などがありましたら、自由に記入してください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【資料５】

鈴鹿市　地域福祉に関する調査（案）

［団体アンケート調査］

日頃より、本市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、令和６年４月に策定した「第３期鈴鹿市地域福祉計画」に基づき、住み慣れた地域で自分らしく暮らすことのできる地域社会の実現に向けた取組を進めています。計画の中間年度である令和９年度を迎えるに当たり、今年度は、本市の地域福祉全般について、福祉活動に関わっておられる団体の皆さまが日頃感じられていることをお伺いし、これまでの検証を行うとともに、計画の見直しに当たっての基礎資料とするため、調査を実施することとなりました。この調査は、令和８年●月●日現在、市内で活動されている団体に対して実施させていただくものです。

皆さまの声をより良い地域福祉施策の展開につなげたいと考えておりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

令和８年９月　　鈴鹿市長　末松　則子

＜ご記入にあたってのお願い＞

■ 原則として、令和８年●月●日（基準日）現在の状況について、あてはまる番号に○をつけてください。また、その他の場合には、（　　）内にその内容を具体的にお書きください。

■ 集計結果は公表しますが、統計的に処理します。個々の団体に関する情報が外部に漏れることはありませんので、率直なご意見等をお聞かせください。

■ 回答が終わりましたら、記入もれなどがないか確認していただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、●月●日(●)までに郵便ポストに投函していただくか、下記の要領でパソコン・スマートフォンによってご回答ください。

このアンケートは、パソコンまたはスマートフォンからも回答ができます。下のＵＲＬまたは右の二次元コードにより、回答サイトへアクセスいただき、説明に従って回答をお願いします。

ＵＲＬ　https://**********.****　　二次元コード

《ご注意》パソコン・スマートフォンからの回答は、**１回限り**としてください。**パソコン・スマートフォンから回答いただいた方は、調査票は返送しないように**お願いします。

■ このアンケートについてのお問い合わせは下記までお願いします。

鈴鹿市 健康福祉部 健康福祉政策課（℡　059-382-9012）

◎　貴団体の名称を記入してください。なお、貴団体名については公表されません。

貴団体名	

1　貴団体の活動や組織についておたずねします。

問1　貴団体が設立されてからの期間は。（○は1つ）

1　1年未満	3　5年～10年未満
2　1年～5年未満	4　10年以上

問2　貴団体の構成員は何人ですか。また、年齢構成は、概ねどれくらいの割合ですか。
《自治会連合会は、この問は回答不要です。》

人　数	（　　）人
年齢構成	30歳代以下（　　）割　40～50歳代（　　）割　60歳代以上（　　）割

問3　貴団体の構成員は、増える傾向にありますか、減る傾向にありますか。（○は1つ）

1　増える傾向にある	3　あまり変わらない
2　減る傾向にある	4　その他（　　）

問4　貴団体ではどのような活動をされていますか。また、特に力を入れている活動や、今後、新たに取り組みたい活動がありますか。（○はそれぞれいくつでも）

回答の向きはこちら

	(1) 現在行っている活動	(2) 力を入れている活動	(3) 今後取り組みたい活動
1　地域の福祉を進める活動	1	1	1
2　健康づくりや医療に関する活動	2	2	2
3　地域の担い手を育てる活動	3	3	3
4　まちづくりの推進を図る活動	4	4	4
5　文化やスポーツの振興を図る活動	5	5	5
6　環境の保全や整備を進める活動	6	6	6
7　災害への備えや救援をすすめる活動	7	7	7
8　地域の安全を高める活動	8	8	8
9　人権の擁護や平和の推進を図る活動	9	9	9
10　国際協力のための活動	10	10	10
11　男女共同参画を進める活動	11	11	11
12　こどもの健全育成を図る活動	12	12	12
13　その他	13	13	13

（　　）

問５　貴団体は、主にどのエリアで活動していますか。（○は１つ）

1	鈴鹿市全域
2	市内の一部の地区 → **問５－② にご回答ください**
3	市域を越えたエリア（具体的に　　）
4	その他（　　）

問５－②　「市内の一部の地区」は、主にどの地区ですか。（○はいくつでも）

1	国府地区	7	稲生地区	13	若松地区	19	久間田地区
2	庄野地区	8	飯野地区	14	神戸地区	20	椿地区
3	加佐登地区	9	河曲地区	15	栄地区	21	深伊沢地区
4	牧田地区	10	一ノ宮地区	16	天名地区	22	鈴峰地区
5	石薬師地区	11	箕田地区	17	合川地区	23	庄内地区
6	白子地区	12	玉垣地区	18	井田川地区		

問６　貴団体は、主にどのような場所で活動していますか。（○はいくつでも）

1	地域の会館や集会所	6	福祉施設
2	学校	7	団体の事務所
3	公民館	8	構成員の自宅
4	地区市民センター	9	活動対象者の自宅
5	その他の公共施設（具体的に　　）	10	その他（　　）

問６－②　活動場所を確保するうえで、特に取り組んだり工夫されたことがあれば記入してください。

（　　）

問７　貴団体は、活動や運営に必要な資金をどのように得ていますか。（○はいくつでも）

1	会費	5	寄附金
2	行政の補助金	6	事業収入
3	社会福祉協議会の補助金	7	その他（　　）
4	民間の助成金		

問７－②　活動や運営の資金を確保するうえで、特に取り組んだり工夫されたことがあれば記入してください。

（　　）

問８　貴団体では、活動や組織運営で困っていることがありますか。
（○はそれぞれいくつでも）

		(1) 困っている	(2) 特に困っている
	回答の向きはこちら ⬇		
1	活動メンバー（会員）が不足している	1	1
2	活動メンバー（会員）が高齢化している	2	2
3	団体を運営するスタッフや役員が不足している	3	3
4	団体の事務所が確保できない・確保の負担が大きい	4	4
5	活動を行う拠点が確保できない・確保の負担が大きい	5	5
6	活動に必要な機材や設備が確保できない・確保の負担が大きい	6	6
7	活動資金や運営資金が不足している	7	7
8	活動に関する情報が得にくい	8	8
9	活動に関するアドバイスや指導が得にくい	9	9
10	活動に関する情報発信が十分にできていない	10	10
11	他の団体や機関等との連携や調整が難しい	11	11
12	現在行っている活動の負担が大きい	12	12
13	活動や組織運営がマンネリ化している	13	13
14	活動や組織運営が縮小傾向にある	14	14
15	新たな活動に取り組むことが難しい	15	15
16	その他	16	16

問９　貴団体では、活動の担い手を増やすために取り組んでいることや、今後取り組みたいと思うことがありますか。（○はそれぞれいくつでも）

		(1) 現在 取り組んでいる	(2) 今後 取り組みたい
	回答の向きはこちら ⬇		
1	団体や活動についての情報発信を積極的に行う	1	1
2	口コミなどで、積極的に参加を呼びかける	2	2
3	活動への理解や参加のきっかけとなる講座などを行う	3	3
4	気軽に参加できる活動をつくる	4	4
5	他の団体などと協力して活動を進める	5	5
6	活動のリーダーを養成する	6	6
7	その他	7	7

上記の項目で工夫していることなどがあれば、あわせて記入してください。

問10　貴団体では、活動した人に一定の報酬や謝礼などを支払う「有償活動」を行っていますか。また、今後はどのようにお考えですか。（○は1つ）

1　多くの（または全ての）活動を、有償で行っている
2　一部の活動を、有償で行っている
3　現在は有償の活動は行っていないが、今後は行いたい
4　団体として有償の活動を行うことは考えていないが、有償の活動を広げることは必要だと思う
5　市民による活動は、有償で行うべきではないと思う
6　その他（　　）

問11　活動や組織運営を充実するための支援として、市などの公的な機関にはどのようなことを行ってほしいと思いますか。優先的にしてほしいことを1番目～3番目まで、それぞれ1つずつ選んでお答えください。

回答の向きはこちら

	1番目（○は1つ）	2番目（○は1つ）	3番目（○は1つ）
1　活動を市民に知らせるよう、広報や情報提供を充実する	1	1	1
2　活動に対する補助金を充実する	2	2	2
3　活動拠点、設備、機材の提供などの物的な支援を充実する	3	3	3
4　活動についての相談や関係者の調整などの人的な支援を充実する	4	4	4
5　新たな活動者の養成や活動者のスキルアップの研修などを充実する	5	5	5
6　活動している団体や、地域・市民などが交流できる場を充実する	6	6	6
7　その他	7	7	7

（　　）

2　活動を通じて感じる地域福祉の状況や課題についておたずねします。

問12　貴団体が活動しているエリアの状況について、どのように感じていますか。
（○は(1)～(10)についてそれぞれ１つ）

回答の向きはこちら →	1 そう思う	2 ややそう思う	3 どちらともいえない	4 あまりそう思わない	5 そう思わない	6 わからない
(1) 地域の住民どうしのつながりが強い	1	2	3	4	5	6
(2) 住民どうしの支えあいができている	1	2	3	4	5	6
(3) 地域の活動への住民の関心が高い	1	2	3	4	5	6
(4) 多くの人が地域の活動に参加している	1	2	3	4	5	6
(5) 地域の団体などが連携できている	1	2	3	4	5	6
(6) 少子高齢化が進んでいる	1	2	3	4	5	6
(7) 経済的な面で生活が苦しい人が増えた	1	2	3	4	5	6
(8) 地域から孤立した人が増えた	1	2	3	4	5	6
(9) 福祉に関する相談窓口が充実した	1	2	3	4	5	6
(10) 福祉の施設やサービスが充実した	1	2	3	4	5	6

問12－②　その他、活動している地域の状況として感じていることがあれば記入してください。

（　　）

問13　貴団体では、地域の福祉や保健・医療に関する次のような活動を行っていますか。また、今後、新たに取り組みたいと思うものがありますか。（○はそれぞれいくつでも）

回答の向きはこちら ↓	(1) 現在行っている	(2) 今後取り組みたい
1　高齢者やこどもなどの見守りや声かけの活動	1	1
2　地域での交流やつながりづくりの活動	2	2
3　家事、介護、子育てなどを支援する活動	3	3
4　高齢者や障がい者などの外出や社会参加を支援する活動	4	4
5　健康づくりを進める活動	5	5
6　保健・医療・福祉に関する相談活動	6	6
7　災害時に支援が必要な人を支える活動	7	7
8　その他	8	8

（　　）

問14　貴団体では、次の(1)～(8)のような人への相談や支援を行っていますか。また、相談や支援を行うなかで困難を感じているものがありますか。
（○は(1)～(8)についてそれぞれ１つ）

回答の向きはこちら →	1 相談や支援を行っている	2 相談や支援をして困難を感じている	3 特に相談や支援はしていない	4 このような人には接していない
(1) 必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人	1	2	3	4
(2) 子育てに悩んでいて、まわりに支援してくれる人がいない人	1	2	3	4
(3) 経済的に困窮し、支援が受けられない人	1	2	3	4
(4) 就労や社会参加を希望しているが、実現できない人	1	2	3	4
(5) 地域から孤立し、生活に支障をきたしている人	1	2	3	4
(6) 虐待や権利侵害に遭っている人	1	2	3	4
(7) 日常生活でのちょっとした困りごとへの支援が受けられない人	1	2	3	4
(8) 支援が必要だが、本人が拒否して受け入れない人	1	2	3	4

問14－②　困難を感じていることの具体的な内容や、その他の課題などがあれば記入してください。

（　　）

問15　市では令和６年度より、重層的支援体制整備事業を開始しました。この事業は、従来の、高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援、生活困窮者対策といった分野ごとの支援では対応しきれない、8050問題（※）やひきこもり・ダブルケアなどのといった複雑化・複合化した課題に対応するためを抱える人や世帯を、包括的なさまざまな面から支援するための体制を整えるものです。
貴団体では、この事業の必要性をどの程度感じますか。（○は1つ）

（※）「8050問題」とは、80歳代の親と50歳代の子どもの組み合わせによる世帯が、親の病気や介護、子どもの介護離職・リストラ・失業などにより、世帯全体が経済的困窮や人間関係の孤立などの複合的課題を抱える問題のことをいいます。加えて、90歳代の親と60歳代の子、70歳代の親と40歳代の子といったように、「9060問題」や「7040問題」も顕在化してきています。

1　非常に必要だと思う	3　あまり必要だと思わない	5　わからない
2　必要だと思う	4　必要だと思わない	

問16　地域の福祉を充実するために、行政や、地域や民間の団体・事業者などはどのようなことに特に優先的に取り組むべきだと思いますか。（○はそれぞれ７つまで）

回答の向きはこちら ⬇		(1) 行政が取り組むこと	(2) 地域や民間が取り組むこと
1	地域での住民どうしのつながりの強化	1	1
2	日常の困りごとを地域で支えあう活動の充実	2	2
3	ボランティア活動やＮＰＯ活動への支援の充実	3	3
4	さまざまな団体・機関などのネットワークの充実	4	4
5	福祉に関する相談窓口の充実	5	5
6	高齢者や障がい者などの介護や生活支援サービスの充実	6	6
7	子育てやこどもの健全育成に関する支援の充実	7	7
8	虐待防止やすべての人の権利擁護の取り組みの充実	8	8
9	経済的に困窮している人への支援の充実	9	9
10	働く場の確保や就労のための支援の充実	10	10
11	年金などの社会保障制度の充実	11	11
12	健康づくりや医療の充実	12	12
13	社会的に孤立した人やひきこもりの人への支援の充実	13	13
14	支援が必要な人を身近なところで発見する取り組みの充実	14	14
15	福祉への理解や思いやりの心を育てる取り組みの充実	15	15
16	だれもが生活しやすいバリアフリーの環境づくり	16	16
17	交通や買い物などの生活の利便性の向上	17	17
18	住宅の確保や住環境の充実	18	18
19	災害時の支えあいや防災の取り組みの充実	19	19
20	犯罪や事故などのない安全なまちづくり	20	20

3　他団体との連携・協働についておたずねします。

問17　連携がある組織・団体等は次のうちどれですか。（○はいくつでも）

1　自治会	11　子育て支援センター
2　地域づくり協議会（まちづくり協議会）	12　保育所・認定こども園・幼稚園・学校
3　民生委員・児童委員、主任児童委員	13　コミュニティセンター
4　ボランティア、ＮＰＯ、福祉活動団体	14　鈴鹿市社会福祉協議会
5　ＧＡＣ鈴鹿(鈴鹿市老人クラブ連合会)	15　市役所
6　こども会	16　三重県
7　自主防災組織	17　連携している組織等はない
8　福祉施設・福祉サービス事業所	18　その他（　　）
9　医療機関	
10　地域包括支援センター	

問18　組織・団体等との間で特に効果的に連携できている活動について、連携できている主な組織・団体等を３つまで挙げて、その内容を教えてください。

	①連携している団体名	②連携している活動の内容（あてはまるものすべてに○）	③具体的な事例をご記入ください。
(1)		1　定期的な情報交換 2　合同での会議開催 3　合同での勉強会開催 4　イベントの実施 5　その他	
(2)		1　定期的な情報交換 2　合同での会議の開催 3　合同での勉強会開催 4　イベントの実施 5　その他	
(3)		1　定期的な情報交換 2　合同での会議の開催 3　合同での勉強会開催 4　イベントの実施 5　その他	

問19　これから連携していきたい組織・団体等は次のうちどれですか。（○はいくつでも）

1　自治会	11　子育て支援センター
2　地域づくり協議会（まちづくり協議会）	12　保育所・認定こども園・幼稚園・学校
3　民生委員・児童委員、主任児童委員	13　コミュニティセンター
4　ボランティア、ＮＰＯ、福祉活動団体	14　鈴鹿市社会福祉協議会
5　ＧＡＣ鈴鹿(鈴鹿市老人クラブ連合会)	15　市役所
6　こども会	16　三重県
7　自主防災組織	17　連携していきたい組織等はない
8　福祉施設・福祉サービス事業所	18　その他
9　医療機関	（　　）
10　地域包括支援センター	

問20　組織・団体等と連携するに当たり、何を求めますか。（○はいくつでも）

1　定期的な情報交換	4　イベントの実施
2　合同での会議開催	5　その他
3　合同での勉強会開催	（　　）

問21　他の組織・団体等と連携しようとする上で困っていることはありますか。
（○はいくつでも）

1　他の組織・団体等の人と出会う機会がない
2　他の組織・団体等に、連携の必要性を理解してもらえない
3　他の組織・団体等に、自分たちの活動を十分に理解してもらえない
4　他の組織・団体等が多忙で協力してもらえない
5　他の組織・団体等と連携の仲介・調整をしてもらえる人がいない
6　地区内に他の組織・団体等がない
7　多忙で連携まで手が回らない
8　その他（　　）
9　特にない
10　連携の必要性を感じていない

4　地域福祉の取組全般についておたずねします。

問22　鈴鹿市における以下の(1)～(12)の各項目について、貴団体は、どれくらい満足していますか。また、その取組をどれくらい重要とお考えですか。

	①満足度（○は1つ）				②重要度（○は1つ）			
回答の向きはこちら →	1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
(1) 市民主体の地域課題の解決力向上（地域団体による課題解決への支援 等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(2) 地域福祉の担い手の確保・育成（認知症サポーターの養成、民生委員・児童委員への支援 等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(3) 地域交流の促進（学習の場づくり、住民主体による通いの場　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(4) 地域とのつながりの維持・創出（障がい者就労機会の確保　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(5) 地域の福祉課題の把握と多様な情報発信（アウトリーチ(※)による訪問支援や伴走支援、SNSを通じた情報発信　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(6) 多様な福祉サービスの提供	1	2	3	4	1	2	3	4
(7) 更生支援に向けたまちづくり（再犯防止活動　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(8) 福祉団体等の活動支援	1	2	3	4	1	2	3	4
(9) 権利擁護事業の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
(10) 包括的支援体制の構築（年代や属性にとらわれない相談支援体制　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(11) 社会情勢の変化に対応した環境整備（自殺対策、感染対策　等）	1	2	3	4	1	2	3	4
(12) 災害時に備えたまちづくり（避難行動要支援者への支援　等）	1	2	3	4	1	2	3	4

（※）「アウトリーチ」とは、行政や専門機関から、支援を必要としている人のもとへ出向いて行う訪問型の支援、出張サービスのことです。

問23　鈴鹿市の地域福祉に関するご意見などがありましたら、自由に記入してください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【資料５】

鈴鹿市　地域福祉に関する調査（案）

［中学生意識調査］

１　地域との関わりについておたずねします。

問１　あなたは、生まれてからずっと鈴鹿市に住んでいますか。（○は１つ）

１　ずっと住んでいる
２　鈴鹿市以外で生まれて、引っ越してきた
３　その他（　　）

問２　あなたは、近所の人と、あいさつをしていますか。（○は１つ）

１　自分から進んでしている
２　相手があいさつをしたときにはする
３　あいさつはしない
４　その他（　　）

問３　あなたは、これまで地域の行事や活動に参加したことがありますか。
（○はいくつでも）

１　道路や公園の清掃活動
２　古新聞や古着などの資源回収
３　こども会の活動
４　地域の運動会やスポーツ大会
５　地域のお祭りや盆踊り
６　その他（　　）
７　参加したことはない

問４　あなたにとって「安心できる」と感じられる場所は、どのようなところですか。
（○はいくつでも）

１　自宅
２　友人・知人の家
３　学校
４　塾・予備校
５　カフェなどの飲食店
６　コンビニ・ショップ・お店
７　公民館・図書館などの公共施設
８　体育館やスポーツジムなどの体育施設
９　趣味や習い事の教室
10　こども食堂
11　インターネット（ＳＮＳ）
12　その他
（　　）
13　特にない

問５　あなたは、大人になっても鈴鹿市に住み続けたいですか。（○は１つ）

1　住み続けたい
2　住み続けたくない
3　わからない

《問５で「１　住み続けたい」と答えた人におたずねします。》

問６　住み続けたいと思う主な理由は何ですか。（○は３つまで）

1　子育て環境が良いから
2　教育環境が良いから
3　治安が良く安心できるから
4　働きやすい環境であるから
5　自然が豊かであるから
6　地域活動が充実しているから
7　人権が尊重されているから
8　文化・スポーツ活動が盛んであるから
9　道路が整備されているから
10　公共交通が充実しているから
11　医療・福祉サービスが充実しているから
12　災害対策が充実しているから
13　その他（　　）

《問５で「２　住み続けたくない」と答えた人におたずねします。》

問７　住み続けたくないと思う主な理由は何ですか。（○は３つまで）

1　子育て環境が良くないから
2　教育環境が良くないから
3　治安が悪く安心できないから
4　働きにくい環境であるから
5　自然が豊かでないから
6　地域活動が充実していないから
7　人権が尊重されていないから
8　文化・スポーツ活動が盛んでないから
9　道路が整備されていないから
10　公共交通が充実していないから
11　医療・福祉サービスが充実していないから
12　災害対策が充実していないから
13　その他（　　）

2　福祉教育、福祉に関する関心についておたずねします。

問8　あなたは、これまで学校や地域の福祉教育として、つぎのような活動に参加したことがありますか。
また、参加して良かったと思うものがありますか。（○はいくつでも）

回答の向きはこちら

	(1) 参加したことがあるもの	(2) 良かったもの
1　手話や点字、車いすやアイマスクなどの体験	1	1
2　認知症サポーター養成講座	2	2
3　ユニバーサルデザインの講話	3	3
4　障がいのある人の講話	4	4
5　福祉施設での職場体験	5	5
6　ワークキャンプ（社会福祉協議会が実施）	6	6
7　赤い羽根共同募金などの街頭募金	7	7
8　敬老会や一人暮らし高齢者の集いなどの行事への参加	8	8
9　特にない	9	9

問9　あなたは、まちなかで、つぎのようなことに心がけていますか。（○はいくつでも）

1　点字ブロックの上に、自転車を止めないようにする
2　車いすや杖を使っている人などに、道や通路を譲る
3　電車やバスのなかで席を譲る
4　困っている人やこどもがいたら、声をかける
5　その他（　　）
6　特に何もしていない

問10　あなたは「福祉」に関心がありますか。（○は1つ）

1　ある
2　ない

《問10で「1　ある」と答えた人におたずねします。》

問11　どのようなテーマに関心がありますか。（○はいくつでも）

1　高齢者の福祉
2　障がい者・障がい児の福祉
3　こどもの福祉
4　母子・父子家庭の福祉
5　生活に困窮している人の福祉
6　外国人の福祉
7　地域でのつながりづくりや支えあい
8　障がい者や外国人などとの共生
9　その他
（　　）

3　ボランティア活動についておたずねします。

問12　あなたは、これまで福祉教育以外で、つぎのようなボランティア活動に参加したことがありますか。また、今後（中学・高校ぐらいの間）や将来（大人になってから）、参加したいと思いますか。（○は(1)～(6)それぞれ１つずつ）

回答の向きはこちら	1 参加した ことがある	2 今後 参加したい	3 将来 参加したい	4 参加したい と思わない
(1) 福祉施設（高齢者や障がい者の施設や保育所など）での活動	1	2	3	4
(2) 地域で生活している高齢者や障がい者などを支援する活動	1	2	3	4
(3) こどもや子育てを支援する活動	1	2	3	4
(4) 市内で生活している外国人を支援する活動	1	2	3	4
(5) 災害が起きたときに支援する活動	1	2	3	4
(6) 地域の行事やお祭りなどをサポートする活動	1	2	3	4

《問12の(1)～(6)のいずれかで「１（参加したことがある）」と答えた人におたずねします。》

問13　ボランティア活動に参加したことがある人は、参加して良かったと思うことがありますか。（○はいくつでも）

1　他の人や地域の役に立つことができた
2　人とのつながりや仲間ができた
3　いろいろなことを学べた
4　達成感や充実感があった
5　自分の成長につながった
6　その他
（　　）
7　特に良かったと思うことはない

《問12の(1)～(6)のいずれも「１（参加したことがある）」と答えなかった人（いずれも「２」、「３」、「４」のいずれかに○を付けた人）におたずねします。》

問14　ボランティア活動に参加したことがない人は、どのような理由ですか。（○はいくつでも）

1　時間がないから
2　自信がないから
3　参加するきっかけがないから
4　一緒に参加する人がいないから
5　興味や関心がないから
6　面倒だから
7　その他（　　）
8　特に理由はない

問15　あなたの家族（あなた以外）で、地域の活動やボランティア活動に参加されている方がいますか。（○はいくつでも）

1　父親
2　母親
3　祖父母
4　兄弟姉妹
5　その他の家族
6　その他（　　）
7　活動に参加している人はいない

4　困りごとや悩みについておたずねします。

問16　あなたは、友だちが困っていたり、悩んでいたらどうしますか。（○はいくつでも）

1　話を聞く
2　別の友だちや大人の人などに相談する
3　何もしない
4　その他（　　）

問17　あなたは、自分が困ったときや悩みがあるときは、どうしますか。（○はいくつでも）

1　友だちに相談する
2　家族に相談する
3　先生に相談する
4　家族や先生以外の大人に相談する
5　自分で考えて解決する
6　その他
（　　）

問18　あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。（○は1つ）

1　言葉の意味を知っている
2　言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
3　聞いたことがない
4　その他（　　）

※ ヤングケアラーとは、本来は大人がするべきである家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満のこどものことです。

問19　「ヤングケアラー」を支援するためには、どのようなことが必要だと考えますか。（○はいくつでも）

1　こども自身がヤングケアラーを知ること
2　大人がヤングケアラーについて知ること
3　こどもが大人に相談しやすい関係を築くこと
4　ヤングケアラーが相談できる窓口があること
5　ヤングケアラーの保護者が相談できる窓口があること
6　ヤングケアラーを把握した周りの人が相談できる窓口があること
7　その他（　　）

問20　日常生活や健康に関する悩みごとや不安があれば自由に記入してください。

5　住みやすいまちづくりについておたずねします。

問21　あなたは、鈴鹿市が制定した「こども条例」のことをご存じですか。（○は1つ）

1　よく知っている
2　だいたい知っている
3　あまり知らない
4　まったく知らない

問22　あなたは、「こども条例」によって、「すずっこオンライン」により中学生を含むこどもが意見を表明できることをご存じですか。（○は1つ）

1　よく知っている
2　だいたい知っている
3　あまり知らない
4　まったく知らない

問23　あなたは、鈴鹿市をさらに住みやすいまちにするために、どんなことが大切だと思いますか。自由に記入してください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。